



▲ 横浜医療情報専門学校にて青年局鈴木局長(右)と小林局長代理(左)とともにパネラーを務める

自民党学生部長として奮闘!



▲ 党福岡県連学生部中央研修会で講師を務める



▲ コーディネーターを務めた与党学生懇談会



▲ 日体大松浪理事長を表敬訪問し、日体大生との意見交換会について打合せ



▲ 小泉進次郎代議士と日体大生との意見交換会

学生との熱い意見交換

昨年から自民党青年局学生部長に就いた田畑。若年層に党の政策をPRするとともに、政治への理解を深めてもらうよう尽力する役割を担っている。

2月21日には、若年層との交流事業「Real Youth Project」として鈴木警祐青年局長と小林史明青年局長代理とともに、横浜医療情報専門学校でパネル・ディスカッションを行った。

350名を超える学生が集まったイベント。「政策を進めるには、国民の大切な税金があつてこそ。」

選挙権年齢が引き下げられたこともあり、若者のみなさんの意見はとても重要。幅広い意見を聞いて、若者や子育て世代向けの政策に反映させたい」と力説した。

パネル・ディスカッション後は質疑応答も実施。「制度を変えるには、これほど時間がかかるのか?」「日本にはさまざまな党があるが、それぞれ何が違うのか?」など率直な意見や質問をいただいた。ホワイトボードを活用しながら、一つ一つの質問に丁寧に答え、学生たちとの交流に刺激を受けた田畑。

和気あいあいとした雰囲気の中で行われた会は、質問や意見が活発に飛び交い、学生ならではの視点に驚きや発見を与えられた。



▲ パンフレット「国に届け」

若い世代の政治への興味をアップ!

昨年夏から選挙権年齢が引き下げられたことを機に、田畑が編集責任者となって制作した若年層向けパンフレット「国に届け」。若年層に政治や選挙を身近に感じてもらうようにコミックと、学生と青年局所属の国会議員との座談会の模様を収録した。

自由民主党 衆議院議員

ひびき新聞

たばた裕明

ひろあき

ひびき新聞

平成29年・初夏

平成29年6月発行

最新の活動報告を公開中です。

facebook

たばた裕明公式FB 随時UP中!

自民党青年局

国に届け

- ◆ 自民党青年局ホームページ URL <http://youth.jimin.jp/>
- ◆ 自民党18歳選挙パンフレット「国に届け」 URL <https://www.jimin.jp/18voice/>



たばたのひとこと

この度、国会の運営や議事の進行を司る、国会対策委員会(通称:国対)の副委員長に任命されました。国対は国会運営に関して他党との折衝を行う一方、自党の所属議員に対し党議の徹底などの統制も行います。私は副委員長として、本会議や復興特別委員会を担当し、表舞台を一生懸命支えています。

国会等での所属 たばた裕明

- ・ 文部科学委員会委員
- ・ 決算行政監視委員会理事
- ・ 消費者問題に関する特別委員会委員
- ・ 東日本大震災復興特別委員会委員
- ・ 衆議院憲法審査会委員
- ・ 自民党厚生労働部会副部長ならびに外交部会副部長
- ・ 自民党雇用問題調査会幹事
- ・ 自民党テレワーク推進特命委員会幹事
- ・ 自民党青年局学生部長
- ・ 自民党国会対策委員会副委員長

選挙戦に奔走!



▶ 富山市長選では田畑も
▶ 石井隆一富山県知事
4期目当選!
▶ 県知事選は県議会議員
補選のダブル選挙に

4月16日に投票された富山市長選挙は現職で自民党推薦の森雅志さんが見事4選。富山市内を足で稼いだ呼びかけや今までの実績が功を奏し、一騎打ちを制した。

富山県知事選挙や富山県議会議員補欠選挙、富山市議会議員選挙でも候補者とともに奔走した田畑。富山市長選挙と同日選挙となった富山市議会議員選挙では、定数38のうち自民党が22を占めるなど、市民の熱い支持を受けた。



東京 安倍総理に富山のかまぼこをPR



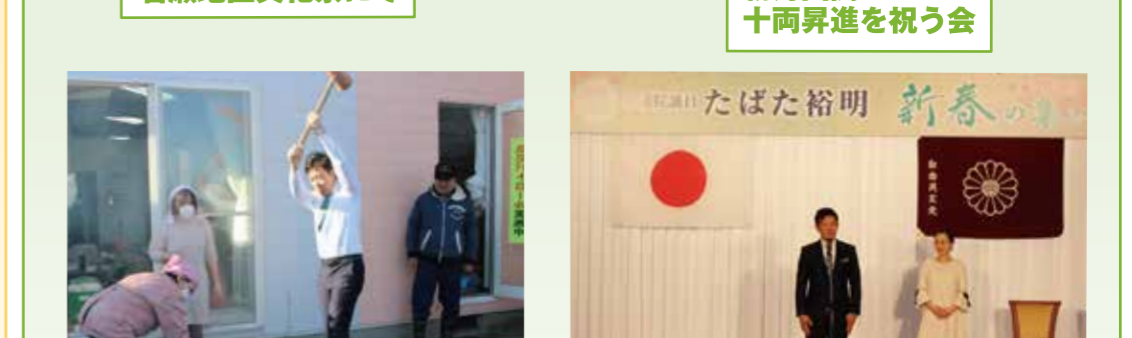
予算委員会分科会にて山本幸三地方創生担当大臣に質問



財務省大塚拓副大臣への要望(刑務所出所者等就労支援強化特命委員会)



岩瀬地区文化祭にて



朝乃山開十両昇進を祝う会



町村地区の餅つきに参加

たばた裕明 新春の集いにて

たばた裕明を励ます会

稽古始めにて激励

候補者名	党派	得票数	得票率
たばた 裕明	自民	70,085	57.44%
吉田 豊史氏	維新	39,249	32.17%
高橋 渡氏	共産	9,795	8.02%

有権者数 262,477人 投票者数147,772人 投票率 55.15%

候補者名	党派	得票数	得票率
たばた 裕明	自民	70,268	47.55%
村井 宗明氏	民主	43,072	29.14%
吉田 豊史氏	無所属	24,370	21.24%
山田 哲男氏	共産	7,023	4.75%

有権者数 262,560人 投票者数122,009人 投票率 54.63%

たばた裕明 プロフィール

昭和48年1月2日生まれ(44歳) 富山市北代在住。富山市立長岡小、呉羽中、興立富山東高校(野球部)卒業、獨協大学経済学部卒業、地元の銀行勤務(平成7~14年)、富山市議会議員連続3期当選(平成15~23年)、富山県議会議員(平成23~24年)、衆議院議員連続2期当選(平成24年~)

【資格等】 宅地建物取引士、全日本スキー連盟公認スキー正指導員、富山市消防団長岡分団所属

たばた裕明 富山事務所 〒939-8202 富山市西田地方町2丁目12-4 ケイ・ディックビル2階 TEL 076-421-1411 FAX 076-421-1422

たばた裕明 国会事務所 〒100-8982 千代田区永田町2丁目1-2 衆議院第二議員会館214号室 TEL 03-3508-7704 FAX 03-3508-3454

一億総活躍社会 実現のための論点

女性活躍・子育て支援の充実に向けて

平成30年度予算編成における「骨太方針」に盛り込むべく、少子高齢化対策の処方箋を議論している。ここで、田畑が提言する論点を紹介する。

育児と介護の支援

障害者支援

病児保育

1 育児と介護の支援

育児と介護が同時進行するダブルケア世帯へのサポートを急務とし、幼児と高齢者の支援を同一の事業所で行うことで、両者の交流も生まれ、刺激し合う効果を期待できる。

また介護離職ゼロを達成するために、支え手となる人材の確保や育成にも力を入れる。既存カリキュラムの互換性や共通化も加味して、新たなキャリア形成の仕組みをつくる。

2 病児保育

現行の厚労省のガイドラインでは、「児童の発熱時に「登園を控えるのが望ましい」目安を37.5度と設定しているが、発熱だけではなく、全身状態を見たり、個々の平熱に応じたりして判断するなど、ガイドラインの適切な運用について検討を行う。

3 障害者支援

就労継続支援事業所の賃金上昇のために、現運営体制の見直しに本腰を入れて取り組むべきである。さらに、触法障害者も視野に入れて、優先調達制度のさらなる活用促進を図る。



▲ 富山市更生保護サポートセンターを視察

3月18日、自民党刑務所出所者等就労支援強化特命委員会の幹事を務める田畑は、出所者の再犯を防止し、社会への復帰の支援や精神面のサポートを行う富山市更生保護サポートセンターを視察。保護司や協力雇用主らと交えて意見交換会を行った。会では「保護司の人員不足や高齢化の問題が深刻」「社内の人関係構築には課題が多い」などの意見が挙がり、田畑は出所者とふれあう方々の思いを直に感じた。今後も地方自治体による雇用実現のため、自治体との連携による施設設備確保や教育システム構築などの環境づくりを目指していく。

東京一極集中を是正せよ!



質問や発言の数々



▲ 消費者問題に関する特別委員会において国民生活センター法改正案について質問



▲ 厚生労働委員会において雇用保険法等改正案について質問



▲ 決算行政監視委員会において主査を務める



▲ 厚生労働委員会において国民年金法改正案について質問



▶ 更生保護に関して意欲を語った田畑

保護司や協力雇用主の方々との意見交換を!!

11月21日、決算行政監視委員会にて質問の機会を得た田畑は、富山県内の交通事情を織り交ぜながら、歩行者の交通安全対策や交通ネットワーク網について話した。カーシェアリングやコインパーキングなどの「青空パーキング」については、自家用車を持つ意思のある人がなくなっているという現状も踏まえて、活用しやすいから悪質な事業者が潜む危険性まで、プラスとマイナスの両面から意見した。地方創生施策にも絡む、まちづくりと公共交通を連動した取り組みについては、地元の富山市の実例を入れながら話した。移動手段では自由に移動できる自家用車が現実的だが、今後高齢化が進む地域にとっては高齢ドライバーの事故は目を見張るものがあると言及。公共交通の再編と立地計画を合わせて行うコンパクトシティ構想に関しても、集積によって機能が高まること、それぞれの立地に合わせた施策を行うことが、地域全体のポテンシャルの底上げにもつながると締めくくった。

富山の実情を交えて質問。地方の公共交通へ言及



▲ 決算行政監視委員会にて質問

新幹線 敦賀以西ルート決定!



▲ 北陸新幹線（敦賀・大阪間）ルート

北陸新幹線で未着工となっている福井県・敦賀―新大阪の延伸ルートについて、平成28年8月以降、10回以上開催された「北陸新幹線敦賀・大阪間整備検討委員会」の委員として、国土交通省鉄道局、沿線の各自治体やJR西日本、学識経験者らと最適なルート選定に向けて議論を交わしてきた。特に、田畑は唯一の富山県代表議員として、石井富山県知事や県議会の意見を踏まえ、「敦賀―小浜―京都」ルートの選定に向けて論陣を張ってきた。

議論の過程では、中京圏から北陸圏へのスムーズな移動について配慮することも強く申し述べた。熱い思いも伝わってか、与党整備新幹線建設推進プロジェクトチームは12月20日に「小浜京都ルート」の採用を決定した。プロジェクトチームの座長・茂木敏光自民党政調会長は「北陸と関西の移動の速達性、利用者の利便性を総合的に勘案した結果だ」と話す。

3月15日には京都から新大阪間のルートが京都府京田辺市付近を通過する南回りルートに決定。整備計画決定から44年が経過した中でのルート確定は感慨深く、検討委員会の取り組みは大変貴重な経験だったと田畑は振り返る。平成29年度予算では、敦賀以西ルート建設における調査費も盛り込まれ、新たな整備財源の捻出や財源スキームの再検討を、初心に立ち返って取り組んでいく予定だ。



▲ 石井隆一県知事より敦賀以西ルートについて、富山県としての意見をうかがう



▲ 北陸新幹線敦賀・大阪間整備検討委員会